

創造・誇り・愛！ 輝く七中 ^{きら}煌めけ生徒！！



とちのき

〒190-0034 東京都立川市西砂町 6-28-3

TEL (042) 531-0511 FAX (042) 531-6103

立川市立立川第七中学校

校長 水越 伸朗

学校だより

第9号

令和6年1月15日



七中 HP URL

備える

校長 水越 伸朗

新しい年を迎え、3学期が始まりました。今月は、3年生は本格的な入試シーズンを迎えます。目標に向けて全力で臨むことを期待しています。また、24日（水）から3日間、1年生はスキー教室、2年生は職場体験を行います。これらの行事を通し成長することを願っています。

保護者・地域の皆様には、昨年中、様々な場面においてご支援、ご協力いただきありがとうございました。本年も、七中生の飛躍を願って教育活動を進めてまいります。よろしく願いいたします。

さて、1月1日に発生した能登地震は、各地に甚大な被害をもたらした。始業式では、あらためて「備える」ことについて話しましたので、一部を紹介します。ご家庭におかれましても、再度、防災についてお子様とお話しいただければと思います。

<前略>

さて、皆さんも知っているように、1月1日に、能登地方を震源とする、最大震度7を記録した大きな地震が発生しました。石川県では亡くなられた方が160名以上、今も行方が分からない方が300名を超える災害となってしまいました。あらためて、亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々にお見舞い申し上げます。今も避難生活を余儀なくされている方も大勢います。一刻も早い復旧を願うばかりです。皆さんの中にも、親せきや知り合いの方が被害にあったという人もいるかもしれません。今回の地震に関して、不安や心配事がある人は、周りの大人に相談してください。

そして、翌日には、今回の地震に起因したと言ってもいい、飛行機事故が羽田空港で発生しました。原因は究明中ですが、海上保安庁の飛行機は、地震の被災地に救援物資を運ぶことが目的だったということを知ると、やりきれない気持ちでいっぱいになります。

今回の災害と事故をうけて、「備える」ことの大切さを感じた3つの出来事がありました。

ひとつは、津波から身を守るために、高台にある避難場所に逃げた方のお話です。この避難場所は東日本大震災の後、いつ起こるか分からない地震に備えて、新たに作られたものだそうです。まさに「備え」が役に立ったのです。もうひとつは、飛行機事故の際、旅客機の乗客・乗務員379名全員が脱出できたという話です。これは、旅客機の乗務員が、日頃から安全に飛行するための訓練を実施しているからだと言われています。わずか18分間で全員が脱出できたのは「備え」があったからなのです。この脱出は海外からも称賛されました。

このように、万が一のために、「備える」こと大切さをあらためて感じました。皆さんも、学校生活における避難訓練等に真剣に取り組むとともに、ご家族の方と防災について確認してください。

さらに、もうひとつ考えさせられることがありました。それは、今回の地震とは違った映像等を用いてSNSで拡散し、誤った情報を流すことがみられたということです。どのような目的があるのかは知りませんが、間違った情報を流すことは、正しいこととは言えません。皆さんには、正しい情報かどうかを見極める力を身に付けてもらいたいと思います。これも「備える」ことの一つだと思います。

*数字は1月9日現在のものです。 <後略>